九州建設情報社

自治体職員向けに「橋梁点検支援技術」現地研修会（福岡国道等）

１１月２４日に福岡市東区の国道３号博多バイパスで

国交省福岡国道事務所および福岡県道路メンテナンス会議は１１月２４日、福岡市東区の国道３号博多バイパスで、県内の地方公共団体職員等を対象に、最新の点検支援技術を活用した「橋梁点検の現地研修会」を開催する。

労働力不足が懸念される中、今後増加するインフラ点検をより効果的・効率的に行うため、点検支援技術に対する理解を深め、実際の定期点検に役立てることが目的。当日は、狭小スペースでも安全に飛行し詳細な撮影が可能な小型ドローンをはじめ、ＡＩを活用してコンクリートのひび割れを自動検出・計測する画像診断サービス「ひびみっけ」、打撃音からＡＩが「うき」の有無を判定する打音検査器（ＰＤＣ－２００Ａ）など、実際の点検現場で役立つ最先端の技術や補助機器を紹介する。